

みずほCustomer Desk Report 2022/01/07号(As of 2022/01/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	116.05 AUD/USD
TKY 9:00AM	116.12	1.1311	131.41	1.3554	0.7219
SYD-NY High	116.18	1.1332	131.43	1.3558	0.7222
SYD-NY Low	115.63	1.1285	130.65	1.3491	0.7146
NY 5:00 PM	115.85	1.1300	130.91	1.3536	0.7163

NY DOW	36,236.47	▲ 170.64	日本2年債	-0.0800	1.00bp
NASDAQ	15,080.87	▲ 19.31	日本10年債	0.1200	4.00bp
S&P	4,696.05	▲ 4.53	米国2年債	0.8716	4.30bp
日経平均	28,487.87	▲ 844.29	米国5年債	1.4728	4.77bp
TOPIX	1,997.01	▲ 42.26	米国10年債	1.7273	2.82bp
シカゴ日経先物	28,750.00	▲ 295.00	独10年債	-0.0710	5.50bp
ロンドンFT	7,450.37	▲ 66.50	英10年債	1.1560	7.05bp
DAX	16,052.03	▲ 219.72	豪10年債	1.8420	8.30bp
ハンセン指数	23,072.86	165.61	USDJPY 1M Vol	5.89	0.19%
上海総合	3,586.08	▲ 9.10	USDJPY 3M Vol	6.13	0.17%
NY金	1,789.20	▲ 35.90	USDJPY 6M Vol	6.35	0.17%
WTI	79.46	1.61	USDJPY 1M 25RR	-0.39	Yen Call Over
CRB指数	236.752	0.04	EURJPY 3M Vol	6.48	0.21%
ドルインデックス	96.32	0.15	EURJPY 6M Vol	6.90	0.21%

東京	東京時間のドル円は116.12レベルでオープン。日経平均株価が大きく崩れる展開にドル売り優勢の流れ。東京時間を通じて売りが続き115.83まで下落。戻りも弱く115.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.84レベルでオープン。アジア時間からのみみ合いで立ち上がり115.95をつけるも、FOMC議事録を受けた株安で欧州株も売られると円買いが強まり115.66まで売られる。その後もみ合って115.81レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は昨日のFOMC議事録を受け、世界的に株式市場が軟化する動きを受けた円買いが強まり115.66まで下落し、115.81レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を上回り、続いて発表の12月ISM非製造業景況指数も予想を下回り115.63まで下落する。しかし前回の過去最高からは低下したものの、引き続き高い水準であること等から株式市場が下げ渋る展開に、ドル円もじりじりと買い戻される。デーリーSF連銀総裁が、「バランスシート縮小は利上げの後」等の発言が伝わったが、特段の市場の反応はなかったが、ブラッド・セントリス連銀総裁が「バランスシート縮小は利上げのすぐ後にすべき」、「より適切なところにインフレを調整するには3月の会合で利上げすることも可能」等、効派な発言が伝わり短期債の利回りが上昇する動きに、ドル円は115.95まで戻し、115.85レベルでクロスした。一方、海外市場ではドル売りがやや優勢となり1.1326まで戻すものの株安を受けたユーロ円の売りに上値は重く1.1314レベルでNYオープン。朝方は1.1332まで戻す局面もあったが米金利上昇を受けドルが買われる展開に1.1291まで下落する。午後の上値重く推移し、1.1287まで下落し、1.1300レベルでクロスした。

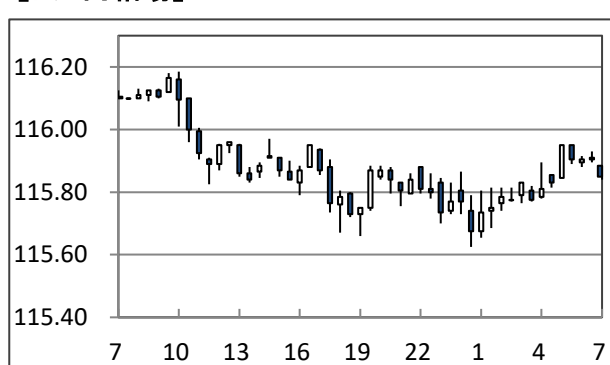
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月6日	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	11月 3.7%/1.3%	2.3%/-1.1%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.5%/5.3%	0.4%/5.1%
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$80.2b	-\$81.0b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 207k	195k
1月7日	00:00	米 製造業受注(前月比)	11月 1.6%	1.5%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	11月 2.6%/0.9%	2.5%/-
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	12月 62.0	67.0

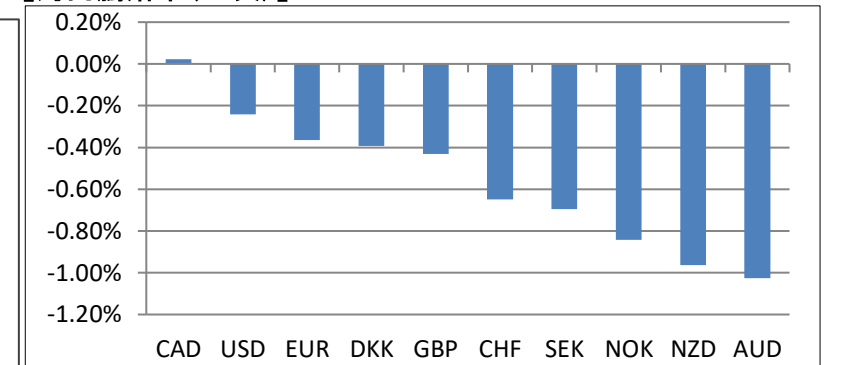
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 1.0%	2.8%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 -0.5%	0.2%
	19:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	12月 0.3%/4.8%	0.4%/4.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 447k	210k
	22:30	米 失業率	12月 4.1%	4.2%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.4%/4.2%	0.3%/4.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.30-116.50	1.1240-1.1340	130.40-131.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は日経平均株価の下落と共に東京時間は売りが優勢となった。ロンドン時間も引き続き売り優勢となったが、前日安値水準の115.60台では底堅く推移。一方、米10年債利回りが1.75%を一時付ける等、前日のタカ派な内容のFOMC議事録を受けた米金利上昇や、FRB高官から3月利上げの可能性を示唆した発言もあり、115.90付近まで戻して同水準を揉み合い推移。

本日のドル円は米12月雇用統計の発表を控えて様子見の中、同水準を底堅く推移することを予想する。米雇用統計ではADP雇用統計が予想比強かったことで期待が高まっている他、12月のホリデーシーズン序盤に家計が消費を始めたことに合わせて、一部で雇用が前倒しされていることを想定すると、強めの結果を予想する。ただ、今回の結果でFRBの金融政策のスタンスが大きく変化することは想定されず、引き続き円安基調は継続。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大庭・大谷